様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和５年　６月　２３日

佐賀県知事　殿

提出者
住　所　大阪府大阪市住之江区南港北1丁目7番89号
氏　名　日立造船株式会社　取締役社長　三野禎男
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　06-6569-0160

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

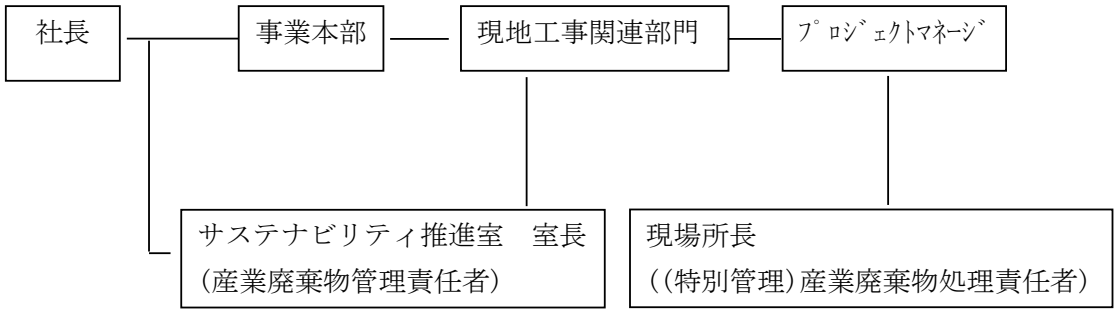
事業場の名称	日立造船株式会社　本社
事業場の所在地	佐賀県杵島郡大町町大字福母1801-94　その他２件
計画期間	令和５年 ４月 １日から令和６年 ３月３１日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高　￥44,665,896,030.－（税抜）
③ 従業員数	3405名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建設工事→分別→収集運搬・処分委託

（日本産業規格　A列４番）

（第２面）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
（管理体制図）  			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①　現状	【前年度（令和４年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排　　出　　量	t	t
	（これまでに実施した取組） 産業廃棄物の発生を抑制する施工方法の検討と分別による集積と処分を行った。		
②　計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排　　出　　量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 発生した廃棄物を適正に分別・処分する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 保管場所は、分別名と処理責任者名を表示。		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 従業員に対し、工事で発生する産業廃棄物を適正に分別するよう教育する。		

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
自社では行っていない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
自社では行わない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
自社では行っていない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
自社では行わない。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
自社では行っていない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
自社では行わない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和４年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い、収集運搬または処分を委託できる業者を選定し、書面による契約を行った。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
これまでの取り組みを継続して行い、再生利用が可能な廃棄物については、再生処理を行うよう推進する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙

現場名（工事名称）佐賀県管轄内事業場

令和5年度（2023年度）産業廃棄物処理計画書

（単位：t）

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	コンクリートがら	コンクリートがら	建設混合廃棄物	水銀	現場計
排出量	0	0	0	0	40	76	3	0	165	0	0	73	0	357
自ら再生利用する量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら熱回収する量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理により減量する量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら埋立処分又は海洋投入処分する量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	0	0	0	0	40	76	3	0	165	0	0	73	0	357
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	40	76	0	0	165	0	0	73	0	354
再生利用業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

現場名（工事名称）佐賀県管轄内事業場

令和4年度（2022年度） 産業廃棄物実績

（単位：t）

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	コンクリートがら	アスファルトがら	建設混合廃棄物	水銀	現場計
排出量	9.82	6.93	0.98	0.42	130.885	127.705	0	14.5	56.324	4428.26	299.92	19.89	3.11	5098.744
自ら再生利用する量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら熱回収する量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理により減量する量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら埋立処分又は海洋投入処分する量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	9.82	6.93	0.98	0.42	130.885	127.705	0	14.5	56.324	4428.26	299.92	19.89	3.11	5098.744
優良認定処理業者への処理委託量	9.12	6.6	0.98	0.42	3.31	44.55	0	14.5	56.324	134.484	31.84	19.11	3.11	324.348
再生利用業者への処理委託量	0.7	0.33	0	0	127.575	83.155	0	0	0	4293.776	268.08	0.78	0	4774.396
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0